

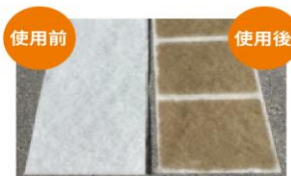
今シーズンに向けた鳥インフルエンザ予防対策について

昨シーズンの高病原性鳥インフルエンザ発生農場の疫学調査結果において、人や車両、家きんの移動で感染が拡大しただけでなく、羽毛や糞便に由来する塵埃を介して家きん舎へ鳥インフルエンザウイルスが侵入した可能性が指摘されました。

このため、下記を参考に鳥インフルエンザ発生防止の取組み強化をお願いします。

①畜産用エアフィルターの家きん舎の入気口等への設置

先般開催された「2024年～2025年シーズンにおける高病原性鳥インフルエンザ疫学調査報告書に係る意見交換会」では、家きん舎の入気口にフィルターを設置した結果、フィルターから鳥インフルエンザの遺伝子が検出された一方で家きん舎内へのウイルス侵入が防がれ、鶏での発生が確認されなかったことが報告されました。このことから、フィルター設置が農場での鳥インフルエンザ発生防止に有効と考えられます。家きん舎の塵埃対策として入気口にエアフィルターを設置することをぜひご検討下さい(下記写真参照)。



参考: 畜産用エアフィルター(全農畜産サービス株式会社) 厚さ10mm、1.6m×30m(価格: 約6万円)

②液体消毒薬の使用と消毒薬の細霧装置の設置

従来の消石灰散布による消毒だけでは乾燥時の塵埃の侵入を防げないため、逆性石けん等の液体消毒薬を併用することが重要です。特に家きん舎内外への消毒薬の噴霧は、空気中の塵埃・ウイルスを吸着し、落下することで、家きん舎内へのウイルス侵入を防ぎます。消毒薬の細霧装置の設置についてもあわせてご検討下さい。

～低温下でも十分な消毒効果が得られるマイクロMIX法の活用を！！～
逆性石けんとマイクロ水酸化カルシウムの併用

逆性石けん(ロンテクト等)による消毒は、低温下や有機物(糞便等)存在下での消毒効果の著しい低下、エンベロープのないウイルスには効果がないという弱点があります。



これらの弱点を克服する消毒方法

マイクロMIX法(逆性石けんにマイクロ水酸化カルシウムを添加した混合液)

- ・低温下、有機物存在下でも消毒効果
- ・**エンベロープのないウイルスにも効果**(さまざまな病原体を不活化＝広域スペクトル化)

マイクロ水酸化カルシウムと逆性石けん混合液の作成方法(水100Lの場合)



マイクロ水酸化カルシウム
0.2kg(0.2%)



逆性石けん200mL
※500倍希釈



水 100L

問合せ: 中央家畜保健衛生所 担当: 堀江・元村・三浦
TEL: 0957-25-1331 FAX: 0957-25-1332